学生と社会人が共に学び、 学生の成長と社会人の知識・スキルを高める

KITリカレント教育プログラム

社会人共学者



金沢工業大学では、「自ら考え行動する技術者」の育成を教育目標に掲げ、2016年度より「世代・分野・文化を超えた共創教育」を実践しています。学生は、正課授業・課外学習を企業の技術者等と共に取り組むことで、幅広い知見やコミュニケーション能力を修得しています。

金沢工業大学「社会人共学者」とは、社会で活躍している社会人の方に授業に参画していただき、学生たちに実際の社会の状況や話題提供をするなどの支援を行い、さらにイノベーション創出に向けて自らも目的・目標をもち、世代を超えて学生と共に意欲的に学べる取組です。

◇ KIT 金沢工業大学

社会人が学生・教員と共に学びあう「KITリカレント教育」

Society5.0社会の実現に向けた金沢工業大学のリカレント教育は、社会人が学生や教員と共に学びあい、企業ニーズに対応した大学教育による知識の習得に加え、学生・教員とのネットワークづくりと習得した知識を活用した共同研究・開発による企業の成長をサポートします。



■ 産学連携への流れ

教育プログラムによる知識の習得に加え、企業および社会の課題に関する学生・教員とのディスカッションを通じて、新たな発想を創出する場をご提供いたします。また、その発想を社会実装する産学連携についても支援いたします。

▲ KIT 金沢工業大学 「社員教育」と「サービス・技術開発」におけるKITの活用方法 企業向け 教育プログラム受講 企業 ・KITリカレント教育 社員教育 プログラム 授業の専門知識の活用と人材育成 ビジョ 企業と大学の連携協議・相談 教員・学生との交流 サービス・技術 共同研究による技術開発 戦 開発 ・学生プロジェクト連携 実証型研究による社会実装 IoT 新たな事業価値及び製品の創出

産学連携については研究支援推進部にお気軽にご相談ください

wwwr.kanazawa-it.ac.jp

■ 主なKITリカレント教育プログラム

企業の社員向けにスキルアップのニーズへ対応した多数の教育プログラムをご用意しております。組織として、または個人として受講することができます。

(受講資格や受講料はプログラムごとに設定されています。募集要項等につきましては、以下のURLからご確認ください。)

法人対象

- 社会人共学者
- 情報技術教育
- 組織におけるウェルビーインク* 向上セミナー

個人対象

- 社会人対象大学院(修士課程)1年制
- イノベーションマネジメント科目等履修生
- プロフェッショナルミーティング
- 原著から本質を学ぶ科学技術講座



社会人共学者

金沢工業大学 社会人共学者 www.kanazawa-it.ac.jp/cocreator

必ずお読みください

金沢工業大学「社会人共学者」とは、社会で活躍している社会人の方に授業に参加していただき、学生たちに実際の社会の状況や話題提供をするなどの支援を行い、さらにイノベーション創出に向けて自らも目的・目標をもち、世代を超えて学生と共に意欲的に学べる取組です。本取組は授業運営の協力者を求めるものです。ご理解とご協力をお願いします。

社会人共学者に求める役割(例)

- **・ 学生とのディスカッション**
- 学生発表の評価
- 科目と社会とのつながりに関する社会 人共学者による講話
- ・ 共同研究、プロジェクト内での知識・ 技術の活用事例紹介 など

プログラム名	社会人共学者
対象期間	2025年度 前学期 (2025年4月8日(火)~2025年7月31日(木))
対象科目·募集定員	科目一覧 を参照してください。
参加条件	1. 企業や自治体・団体等にお勤めの方、本学の卒業生の方 2. 自らも目的・目標を持ち、意欲的に授業に参加することができ、学生と共に研鑽する意欲がある社会人の方 3. 授業の進行に応じて、学生に対して社会の状況や話題提供できる方 4. 科目ごとに必要なスキルが指定されている場合は、その要件を条件とします。(詳細は科目一覧を参照)
受付期間	2025年3月3日(月)~6月23日(月) 【この期間内で参加授業回の2週間前までにお申し込みください。】
申請方法	
本学卒業生の方が参加される 場合、所属企業からの 推薦は不要です。	期日までに <u>ウェブサイト</u> から「申請書」をご提出ください。(3月3日(月)より受付開始)
書類審査・面談	申請書による書類審査と、科目担当教員との面談を行います。
参加許可通知	申請書に記載いただいたメールアドレス宛に通知します。
オリエンテーション	オンラインで随時開催(詳しくは申請書へ記載いただいたメールアドレス宛に通知します)
参加費	無料
単位認定/修了認定	単位認定/修了認定はありません。
注意事項	各科目において、履修希望者が5名未満の場合は開講しない場合があります。 申し込み前に、「参加にあたっての注意事項」(下記)をご確認ください。



■ 参加にあたっての注意事項

- 「社会人共学者」は、単位修得や専門知識の修得を目的とする本学学生及び科目等履修生とは異なります。単位修得や専門知識の修得を目的とする場合は、別途「科目等履修生」や「情報技術教育プログラム」をご利用ください。
- 社会人の積極的な授業参加が、学生と社会人の双方にとって効果的な学習環境となりますので、ご協力をお願いします。
- ・ 学生が受講する本学の正課授業に参加します。1コマの授業は100分です。
- 祝日等の関係で、金曜日に火曜日の授業が行われるなど、授業開講曜日を変更している場合があります。(参照:パンフレット末尾)
- 遅刻、早退は認められません。また、授業中は、携帯電話及びスマートフォンの電源はお切りください。
- 授業で使用する教科書の購入は任意です。購入については教員と面談時にご相談ください。
- ・授業に関する録音、撮影は原則禁止です(教員によるオンライン会議ツールの録画は除く)。また、提示資料および配布資料には著作権があります。許可無く対外的に配布しないでください。
- 担当教員の都合によりやむを得ず「休講」となる場合があります。当日の休講に関する連絡については、運営よりご連絡します。なお、 休講となった場合は「補講」があります。補講の日時については担当教員に確認してください。
- ・遠隔授業においては、事前に通信環境や接続状況の確認をしてください(通信環境設備、通信費は各自でご負担ください)。通信障害・不具合等により参加ができない場合は、担当教員または社会人共学者窓口までお知らせください。
- 授業前に設定が必要なアプリケーションソフトウェア等がある場合は、授業開始前に担当教員よりメール等でご連絡します。
- 授業中にアンケート調査を実施する場合があります。
- 授業中に広報用および記録用に一部カメラ撮影等が入る場合があります。
- 同一年度中に履修できる科目数は12科目以内です。



社会人共学者

1時限 8:40~10:20 2時限 10:35~12:15 (昼休み 12:15~13:15) 3時限 13:15~14:55 4時限 15:10~16:50

5時限 17:05~18:45

■ 科目一覧 2025年度 前学期(2025年4月8日(火)~7月31日(木))

(表の見方)参加可能科目ごとに、参加の際の注意事項を示しています。お申込み前にご確認ください。

No	年次	科目名(シラバス)	社会人共学者に 求める役割	授業のキーワード	受入 人数	参加に必要な知識、 学習内容など	担当教員	時限※ (参加時限を1つ選択)	参加できる授業
-	-	科目名を確認してください。 また、講義概要等を記した「シラ バス」をあらかじめ確認してくだ さい。	ご協力いただきたい役割です。 詳しくは、オリエンテーションでご案内い たします。	授業内容に関連するキーワードです。		参加に必要な知識などを示しています。 お申し込みの際の参考にしてください。	科目を担当する教員名	希望する曜日時限を選択してください。 例えば、「月1、月3」は 月曜1限または月曜3限 の2クラス開講していることを示します。「月1-2」は 月曜1限と2限に実施されることを示します。	都合の良い回にご

※授業曜日について、巻末の

	茶≣五數;	「科目名」を選択してシラバスを 育分野			「授業スケジュール」を確認	?してください。 -			
No	年次	科目名(シラバス)	社会人共学者に 求める役割	授業のキーワード	受入 人数	参加に必要な知識、 学習内容など	担当 教員	時限※ (参加時限を1つ選択)	参加できる授業
1	1年	<u>イングリッシュトピックス1</u>	社会人の意欲的な学習姿勢による 授業の活性化	会話 (Speaking) 聴解 (Listening) 読解 (Reading)	1名	高校卒業程度の英語力	未定	月1、月2、月3、月4 火2、火3、火4 水1、水3 木1、木2、木3、木4 金2、金3 面談時に上記 時限から選択	全15回 ※対面
2	1年	<u>イングリッシュトピックス3</u>	社会人の意欲的な学習姿勢による 授業の活性化	会話 (Speaking) 聴解 (Listening) 読解 (Reading) 語彙と文法(Vocabulary and Grammar)	1名	高校卒業程度の英語力	未定	月1、月2、月3、月4 火2、火3、火4 水1、水3 木1、木2、木3、木4 金2、金3 面談時に上記 時限から選択	全15回 ※対面
3	1年	<u>イングリッシュトピックス5</u>	社会人の意欲的な学習姿勢による 授業の活性化	会話 (Speaking)、 聴解 (Listening)、 読解 (Reading)、 発表 (Presentation)	1名	高校卒業程度の英語力	未定	月1、月2、月3、月4 火2、火3、火4 水1、水3 木1、木2、木3、木4 金2、金3 面談時に上記 時限から選択	全15回 ※対面
4	2年	アカデミックリーディング2	社会人の意欲的な学習姿勢による 授業の活性化	精読 (Intensive Reading) 語彙 (Vocabulary) 聴解 (Listening) 話す(Speaking) 発表 (Presentation)	1名	高校卒業程度の英語力	未定	月1、月2、月3、月4 火2、火3、火4 水1、水3 木1、木2、木3、木4 金2、金3、金4 面談時に上記 時限から選択	全15回 ※対面
5	2年	<i>アカデミックプレゼンテー</i> <u>ション</u>	社会人の意欲的な学習姿勢による 授業の活性化	Academic Presentation Speaking Writing Digital Presentation Skill	1名	高校卒業程度の英語力	未定	月1、月4 火1 面談時に上記 時限から選択	全15回 ※対面

6	2年	<u>イングリッシュセミナー</u>	社会人の意欲的な学習姿勢による 授業の活性化	Speaking/ Listening Reading/ Writing PBL Collaborative Competence Cooperating with community	1名	英語で外国人にインタビューする ことなどが課題となります。	藤井 清美	月1、月4 火1 面談時に上記 時限から選択	全15回 ※対面
7	1年	TOEIC 初級	社会人の意欲的な学習姿勢による 授業の活性化	TOEIC Grammar (文法) Vocabulary (語彙) Listening Reading	1名	高校卒業程度の英語力 ※シラバス3月公開予定	未定	開講期間 8/25(月)〜9/12(金) 期間中 2限のみ開講	面談時に相談
8	1年	TOEIC 中級	社会人の意欲的な学習姿勢による 授業の活性化	TOEIC テスト攻略法 聞き取り 長文読解 文法	1名	高校卒業程度の英語力 ※シラバス3月公開予定	久恒 彩子	開講期間 8/25(月)〜9/12(金) 期間中 1.2限開講	面談時に相談 ※1時限以上 参 加可
9	全	Japanese Communication 1	社会人の意欲的な学習姿勢による 授業の活性化	Communication Reading Writing Speaking Listening	1名	日本語教育が必要な方(ゼロ 初級)がいらしたら受講可能で す。授業中の説明は英語になり ます。	藤井 清美	開講期間 6/9(月)~6/17(火) 期間中 1.2限開講	面談時に相談
10	全	Japanese Communication 2	社会人の意欲的な学習姿勢による 授業の活性化	Communication Reading Writing Speaking Listening	1名	日本語教育(初級)が必要な 方がいらしたら受講可能です。授 業中の説明は英語になります。	藤井 清美	開講期間 6/9(月)~6/17(火) 期間中 1.2限開講	面談時に相談
11	全	Japanese Communication 3	社会人の意欲的な学習姿勢による 授業の活性化	Communication Reading Writing Speaking Listening	1名	日本語教育(中級)が必要な 方がいらした6受講可能です。授 業中の説明は英語になります	井ノ口 悦子	開講期間 6/9(月)~7/17(木) 期間中 1.2限開講	面談時に相談

「科目名」を選択してシラバスをご確認ください

	■ 数理・データサイエンス・AI教育分野											
No	年次	科目名(シラバス)	社会人共学者に 求める役割	授業のキーワード	受入 人数	参加に必要な知識、 学習内容など	担当 教員	時限※ (参加時限を1つ選択)	参加できる授業			
12	2年		付会人の意欲的な子習姿勢による 授業の活性化 教室でのグループ活動(簡単な力学 実験)に参加して学生と協働する	位置・速度・加速度 運動の三法則 仕事とエネルギー 運動量と衝突 回転運動と振動	5名 程度	教室でのグループ活動(簡単な 力学実験)に対面で参加して、 学生と協働する。これとは別に、 講義資料等を事前配布の上、 Zoomで通常の授業にご参加い ただけます。	田中 忠芳	水2、金4	面談時に相談 ※対面・オンライン 併用			

「科目名」を選択してシラバスをご確認ください

	機械工	学分野							
No	年次	科目名(シラバス)	社会人共学者に 求める役割	授業のキーワード	受入 人数	参加に必要な知識、 学習内容など	担当 教員	時限※ (参加時限を1つ選択)	参加できる授業
13	2年	機械力学工	科目と社会・企業との関連性の紹介	剛体の運動 衝突 仕事とエネルギー 摩擦 慣性モーメント	2名 程度	剛体の運動の理解とその実践的 な応用	高野 則之	木1	1回目 ※対面または、 オンライン
14	3年	材料力学Ⅲ	科目と社会・企業との関連性の紹介 社会人の意欲的な学習姿勢による 授業の活性化	3 軸応力 ひずみエネルギー 破壊基準 座屈	5名	主応力の考え方、求め方に基づき設計 の基礎となる考え方を学ぶ。 座屈についても学ぶ。 そのため、「応力・ひずみ」「はりの曲げ」に ついての基礎知識は身につけておいてほしい。	斉藤 博嗣	木4	面談時に相談 ※対面

			「科目名」を選択してシラバスを	ご確認ください						
Е	電	気電-	子工学分野							
r	10	年次	科目名(シラバス)	社会人共学者に 求める役割	授業のキーワード	受入 人数	参加に必要な知識、 学習内容など	担当 教員	時限※ (参加時限を1つ選択)	参加できる授業
1	15	3年	情報通信ネットワーク	自社の課題の説明	IoT 通信プロトコル イステムット システム設計 地域連携	無制限	インターネットに興味があること。 自社或いは自身の抱えるICTの 問題について話ができること。	横谷 哲也	金2、金4	全15回 ※対面・オンライン 併用
1	16 :	大学院	電気磁気学特論	科目と社会・企業との関連性の紹介 自社の課題の説明 社会人によるプレゼン・講話 社会人の意欲的な学習姿勢による 授業の活性化	マックスウェル方程式電気磁気現象誘電率 透磁率 テンソル	無制限	マクスウェル方程式を出発点として、電気磁気学を体系的に学びます。	山口 敦史	月1	全15回 ※対面

	₩ 十·	「科目名」を選択してシラバスを 木工学分野	ご確認ください						
No	年次	科目名(シラバス)	社会人共学者に 求める役割	授業のキーワード	受入 人数	参加に必要な知識、 学習内容など	担当 教員	時限※ (参加時限を1つ選択)	参加できる授業
17	1年	環境土木工学入門とキャリア デザイン	社会人の意欲的な学習姿勢による 授業の活性化	環境土木工学科・専攻の概要 環境土木業界の概要 土木史 大学院進学とキャリアパス GX、DX	10名	外部講師による3回の講義については参加不可となります ※詳細は面談にて調整	宮里 心一	月2	1回〜複数回 ※対面・オンライン 併用
18	2年	水理学I	社会人の意欲的な学習姿勢による 授業の活性化	流体力学基礎 静水力学 連続式 ベルヌーイの定理 プログラミング	無制限	特になし	有田 守	水1	全15回 ※対面
19	3年	環境土木専門実験・演習A	がループディスカッションへの参加 社会人の意欲的な学習姿勢による 授業の活性化 かまます。	構造力学 土質力学 鉄筋コンクリート工学 実験 演習	5名		木村 定雄 宮里 心一 花岡 大伸 高原 利幸	- 火3、火4	面談時に相談
20	3年	環境土木専門実験・演習B		空間情報工学(DX) 水理学 鉄筋コンクリート工学(GX) 実験 演習	程度	鉄筋コンクリートはりの挙動	宮里 心一 徳永 光晴 有田 守 花岡 大伸		※対面
21	3年	防災工学工	科目と社会・企業との関連性の紹介 社会人の意欲的な学習姿勢による 授業の活性化	メンテナンス(維持管理) コンクリート構造物の劣化 コンクリート構造物の対策 インフラのリスク 地域連携	10名	官民に拘わらず、コンクリート構造物のメンテナンスに携わり、意欲のある方を募集します。	宮里 心一	月1	全15回
22	3年	土木施工学	社会人の意欲的な学習姿勢による 授業の活性化	土工·軟弱地盤対策 建設機械 基礎工	若干名	特になし	木村 定雄	火1	面談時に相談 ※対面
23	3年	建設マネジメントI	社会人の意欲的な学習姿勢による 授業の活性化	建設マネジメント 鉄道交通政策 道路交通政策 災害復興政策 海外プロジェクト	若干名	特になし	木村 定雄	月3	面談時に相談 ※対面

「科目名」を選択してシラバスをご確認ください

	メ	ディア	情報分野							
N	О	年次	科目名(シラバス)	社会人共学者に 求める役割	授業のキーワード	受入 人数	参加に必要な知識、 学習内容など	担当 教員	時限※ (参加時限を1つ選択)	参加できる授業
2	4	3年	メディア情報専門実験・演習B	自社の課題の説明 社会人によるプレゼン・講話	PC組み立て LAN構築 Physical Computing センサー	3名 程度	特になし	高野 佐代子	金3、金4	1回目以外 面談時に相談 ※対面

「科目名」を選択してシラバスをご確認ください

	経営分	野							
No	年次	科目名(シラバス)	社会人共学者に 求める役割	授業のキーワード	受入 人数	参加に必要な知識、 学習内容など	担当 教員	時限※ (参加時限を1つ選択)	参加できる授業
25	2年	マーケティング基礎	自社の課題の説明 発表等への講評 社会人によるプレゼン・講話	マーケティング調査 & 戦略 Needs、STP、4P ブランディング 地域志向・地域連携 社会との共創	無制限	特になし	松林 賢司	木3	全15回 ※対面

	\ +m +444	「科目名」を選択してシラバスを	ご確認ください						
No	<mark>心理科</mark> 年次	子分野 科目名(シラバス)	社会人共学者に 求める役割	授業のキーワード	受入 人数	参加に必要な知識、 学習内容など	担当教員	時限※ (参加時限を1つ選択)	参加できる授業
26	大学院	ポジティブ心理学特論	グループディスカッションへの参加 発表等への講評 社会人の意欲的な学習姿勢による 授業の活性化	ボジティブ心理学 ウェルビーイング ボジティブエクササイズ 心の健康と法律 地域連携	30名	ボジティブ心理学、ウェルビーイングに興味 があり、特に、自身や周囲の人のウェル ビーイングを増進するエクササイズに関心 のある方なら誰でも参加できると思いで す。複数のボンイブエクササイズを経験し ていただきます。社会人共学者の参加す る回は遠隔で行いますので地域は問いま せんが、Zoomで参加できる方に限られま す。	塩谷 亨	火3	全15回の内 8回程度 ※オンライン
27	大学院	端床小坪官正海省1	グループディスカッションへの参加 発表等への講評	質問紙法の基礎 MMPI-3の特徴 MMPI-3の解釈 MMPI-3を用いた報告書 結果のフィードバック	6名 程度	MMPI-3を実施や導入を検討している臨 床心理土養成の指定校の出身者が対 象です。MMPI-3の各尺度の解称るる実 等の臨床経験を話せる範囲で院生に話 していただきます。社会人共学者の方に とってはMMPI-3の対助を整理する機会 になり院生にとっては臨床家からの生の声 で臨床的な体験を聞く機会になります。	塩谷 亨	水1	全 1 5回の内 7 回程度 ※オンライン

「科目名」を選択してシラバスをご確認ください

■ 3	 建築分野										
No	年次	科目名(シラバス)	社会人共学者に 求める役割	授業のキーワード	受入 人数	参加に必要な知識、 学習内容など	担当 教員	時限※ (参加時限を1つ選択)	参加できる授業		
28	3年		科目と社会・企業との関連性の紹介 社会人によるプレゼン・講話	建築設計・生産 BIM ルールベースドモデリング シミュレーション ビジュアルプログラミング	5名	特になし	下川 雄一藤井 健史	月4	14回目 ※対面		

■ 科目の詳細情報「学習支援計画書(シラバス)」について

お申込みの前に、学習支援計画書(シラバス)を必ずご確認ください。 科目の参加条件およびご自身の参加目的に即した科目を選択してください。

シラバスには、授業科目の学習・教育目標等が記載されており、下記のシラバス 検索システムURLより確認できます。

シラバスに記載内容は以下の通りです。

- ○授業科目の学習・教育目標
- ○達成度評価
- ○授業の概要および学習上の助言
- ○評価の要点
- ○履修に必要な予備知識や技能
- ○具体的な達成の目安
- ○学生が達成すべき行動目標
- ○授業明細表(各回の講義概要)

シラバス検索システム URL

学部 https://x.gd/kit_b_syllabus 大学院 https://x.gd/kit_gr_syllabus



■ 授業スケジュール【2025年度 前学期 授業スケジュール】

- 前項「科目一覧」と合わせて科目別の授業日時を確認してください。
- ・大学では1学期間を15週に分けて授業を実施しています。

月1

=月曜授業日第1週目

★O1

=曜日変更授業日(実際の曜日と異なって授業が開講されます。例:7月17日(木)は金曜日の授業があります。)

2025年 4月							
日	月	火	水	木	金	±	
		1	2	3	4	5	
6	7	8 火1	9 水1	10 木1	11 金1	12	
13	14 月1	15 火 2	16 水2	17 木2	18 金2	19	
20	21 月2	22 火3	23 水3	24 木3	25 金3	26	
27	28 月3	29 昭和の日	30				

5月							
日	月	火	水	木	金	±	
				1	2	3	
						憲法記念日	
4	5	6	7	8	9	10	
みどりの日	こどもの日	振替休日	水4	木4	金4		
11	12	13	14	15	16	17	
	月4	火4	水5	木5	金5		
18	19	20	21	22	23	24	
	月5	火5	水6	木6	金6		
25	26	27	28	29	30	31	
	月6	火6	水7	木7	金7		

6月							
日	月	火	水	木	金	±	
1	2	3	4	5	6	7	
創立記念日	月7	火7	水8	木8	金8		
8	9	10	11	12	13	14	
	月8	火8	水9	木9	金9		
15	16	17	18	19	20	21	
	月9	火9	水10	木10	金10		
22	23	24	25	26	27	28	
	月10	火10	水11	木11	金11		
29	30						
	月11						

	7月						
日	月	火	水	木	金	±	
		1	2	3	4	5	
		火11	水12	木12	金12		
6	7	8	9	10	11	12	
	月12	火12	水13	木13	金13		
13	14	15	16	17	18	19	
	月13	火13	水14	★金14			
20	21	22	23	24	25	26	
	海の日	火14	★月14	木14	金15		
27	28	29	30	31			
	月15	火15	水15	木15			



社会人共学者窓口(共創教育推進室・教務課)

〒921-8501 石川県野々市市扇が丘7-1 電話 076-294-6743 (共創教育推進室)

Mail kyougaku[アット]mlist.kanazawa-it.ac.jp URL https://www.kanazawa-it.ac.jp/cocreator/ 産学連携に関して(研究支援推進部)

TEL 076-294-6740

お問合せ先 https://forms.office.com/r/d2qf610cwc

URL https://wwwr.kanazawa-it.ac.jp/